

VI 施設利用等の提供

(422, 245 千円)

産業会館管理運営事業

(自 243, 600 千円)

【事業のねらい】

目的 (目指す姿)	○全ての利用者、主催者に対して平等で安全・安心、快適な利用環境の提供を基本に、収入の確保に向けた取り組みや経費の削減によって当館の管理運営に組み込み、利用者の満足度の向上と収支の改善との両立を図る。
現状と課題	○県立広島産業会館は、東展示館・本館と西展示館で構成され、県内企業を中心として工業製品や特産品、新製品の展示等に会場を提供し、販路拡大等を通じて本県産業の振興を図ることを目的として事業に取り組んでいるところであるが、東展示館・本館においては築54年、西展示館においては築34年を経過していることから、老朽化した施設の適正な維持・管理に加え、利用者のニーズにマッチした機能を整備する必要がある。 とりわけ、電気、ガス、上下水道、通信など、ライフラインの老朽化が著しいことから、早急な対応が必要になっている。

【事業概要】

	概要
適切な施設の整備及び管理・運営	○収入の状況を見極めつつ、老朽化した施設の機能維持や修繕などとともに、利用者から要望の多い設備の更新・整備を行うことにより、利用者の満足度の向上を図る。
収益確保に向けた取り組み	○国家試験や資格試験など、好不況の波に左右されない催事の誘致や、アフターコロナで賑わいを取り戻しつつあるファミリー向けの大型イベントの再開促進など、将来的な収支改善に繋がる取り組みを強化する。
経費削減	○顧客へのサービスの低下や職員のモチベーションの低下に繋がらない範囲で、不要不急の支出の抑制に努める。
県内製品や県内企業等の情報発信	○広島BOXにおいて、工業製品、酒・食品関連、健康・美容、伝統工芸品など、広島の宝である県内企業等の製品をカテゴリー別に展示し、広島産業会館の来場者に紹介するとともに、出展企業と地域の小学生との交流事業を行う。 ○メッセひろしまギャラリーにおいて、広島で活躍するクリエイターや企業、プランナーのコラボレーションや新たなチャレンジの成功事例を紹介するとともに、広島県の観光・イベント情報や、産業支援等の様々な情報を提供する。
顧客情報の収集・分析	○広島産業会館を利用した県内外の主催者や来場者を対象にアンケート調査を行い、来場者の属性、主催者の満足度やニーズを把握した上で、顧客情報を収集・分析することにより、新たなイベント誘致や顧客開拓、次期指定管理申請等に繋げるとともに、顧客サービスの一環として分析結果を催事主催者に提供する。
顧客の定着促進	○広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティFM放送やフリーペーパー等を活用し、広島産業会館のイベントをPRすることにより、顧客の定着促進を図る。

【事業目標】

	目標
利用料等収入額	243, 600 千円
面積稼働率	41%